

犯罪

阿渾

殊に喀什噶爾地方に在る人民は、常に外人に接し、開化の空氣に觸るゝが故に、殆んど詐僞狡黠其の性を成し、虚誇禮節なく、利の在る所是れ趨り、名譽節義の何者たるを知らざる者少しとせず。

纏頭回に於ける犯罪は、概して婦人事件にて、盜を爲す者至て稀なり。只北路殊に伊犁地方には、家畜を盜む者多し。是れ露清人等異人種の、多く雜居すると、四圍山なるに依り、賊の出入逃遁に便利なるが爲めならん。

纏頭回に於て、哥蘭經(回々經)を多く讀みたるものを稱して阿渾アホシと曰ひ。回民一般に之を尊敬すること活佛の如く、冠婚葬祭は勿論人事の大小悉く阿渾の言に聽き、以て可否を決するの風あり。又同教徒中一たび亞刺比亞、土耳其を遍歴し、教祖マホメットの墳墓に參拜し、且つ其の舊跡を吊ひて歸りしを哈吉ハチと稱へて、尊敬極めて厚し。夫れ斯の如く尊敬を拂ふ所以は、凡そ回教徒にして教祖の墳墓舊跡を參拜する者は、其の心眞に正直にして、罪なき者始めて堂に入つて拜するを得、然らざれば、必ず罰を受けて生還を得ずと確信するに因りてなり。是に於て、彼等の餘財ある者は、必らず此の遍歴參拜に赴くを以て無上の幸福と信ず。參拜往復の費